

令和元年度事業実績

1 普及啓発事業（定款第4条第1号）

(1) 人権啓発行事

① 人権啓発行事

ア 人権啓発行事として、「探検家・関野吉晴さんと旅する夜」（第一夜）を開催した。

<実施内容>

実施日：令和元年10月30日(水)

会場：cafe slow [カフェスロー]（国分寺市）

講師：関野吉晴（探検家）

内容：探検家として知られる講師による、環境・多様性・持続可能な未来をテーマとするトークイベント。地球上のさまざまな地域を旅して、多くの人々や文化に接してきた講師が語る人間社会のあり様を通して、差別や人権について考えるきっかけを提供した。

参加者数：72名

後援：東京都、東京都人権擁護委員連合会、東京人権啓発企業連絡会

イ 人権啓発行事として、「探検家・関野吉晴さんと旅する夜」（第二夜）を開催した。

<実施内容>

実施日：令和元年11月8日(金)

会場：江戸東京博物館 ホール

講師：関野吉晴（探検家）、安田菜津紀（フォトジャーナリスト）

内容：前半は、関野氏が木下川の皮革工場で働いた際の体験や人権についての思いを語り、後半は、東南アジアや中東、アフリカ、日本国内で難民や貧困、災害の取材を続けているフォトジャーナリストの安田氏をゲストに迎え、世界の子供たちとその未来をテーマに対談を行った。

参加者数：239名

後援：東京都、東京都人権擁護委員連合会、東京人権啓発企業連絡会

ウ 人権啓発行事として、映画の上映とトークを開催した。

<実施内容>

実施日：令和2年1月28日(火)

会場：東京ウィメンズプラザ ホール

上映作品：「僕の帰る場所 Passage of Life」

東京に住む難民申請中のミャンマー人一家（日本で育ち、母国語を話せない幼い二人の兄弟、入国管理局に捕まった父、これからの生活に不安を抱き、ミャンマーへの帰国を選ぶ母）と彼らを取り巻く社会・環境を背景に描いた実話に基づいた作品。一家の生活を優しく見守りつつ、在日外国人の雇用、言語、子供の教育、母国への帰還と再適応（いわゆる「帰還移民」）といった多くの論点も盛り込まれている。

講師：渡邊一孝（プロデューサー）、根本敬（上智大学総合グローバル学部教授）、主演家族（母親役：ケイン、次男役：テツ）

トーク：映画上映後、プロデューサー、東南アジア近現代史の専門家、主演家族によるトークを実施した。

参加者数：208名

後援：東京人権啓発企業連絡会

② 人権啓発映画会

東京都における就職差別解消促進月間（6月）の事業として、映画会と、ニューヨークとのネット中継により映画監督のトークを開催した。

<実施内容>

実施日：令和元年6月4日(火)

会場：台東区生涯学習センター ミレニアムホール

上映作品：「公正な採用選考が企業にもたらすもの」

公正な採用選考によって良い人材を確保することは、企業の発展に不可欠である。また、採用選考時に応募者の人権をないがしろにすれば、その企業は信頼を失いかねない。公正な採用選考の意義や、公正さをいかに守っていくかなどについて、具体的な事例を盛り込み、企業の採用担当者の目線でわかりやすく描いた作品。

「Ainu | ひと」

1869年に明治新政府がアイヌ民族を「平民」として戸籍を作成し、同化政策や開拓を進めた結果、アイヌ文化は急速に衰退していった。かつて、アイヌモシリ（アイヌの大地）と呼ばれた北海道の日高地方・平取町には、今も多くのアイヌ民族が暮らしており、生活スタイルを変容させながらもアイヌ文化を伝承する努力を続けている。文化伝承のために、地域のリーダー的存在として積極的に活動する個性多様な4人の「Ainu=ひと」たちを主人公に、昭和から平成のアイヌの変容を示す生き証人でもある「ひと」の姿を描いたドキュメンタリー。

参加者数：264名

共 催：台東区

後 援：東京人権啓発企業連絡会

(2) 協賛行事等

国や東京都等が主催する人権啓発行事に協賛・参加した。

<主な行事内容>

実施日	行 事	会 場
5月9日(木)	2019年度憲法週間行事「トークショーと映画の集い in 中央区」	中央区立日本橋公会堂
9月14日(土)	第26回「子どもたちからの人権メッセージ発表会」(多摩東人権啓発活動地域ネットワーク協議会)	ルネこだいら (小平市民文化会館) 中ホール
9月24日(火)	人権啓発セミナー (東京都産業労働局商工部)	新宿NSビル
10月8日(火)	拉致問題啓発舞台劇公演 「めぐみへの誓い—奪還—」	たましん RISURU ホール (立川市市民会館) 大ホール
11月30日(土)	第16回「子どもからの人権メッセージ発表会 in 武蔵村山」(多摩西人権啓発活動地域ネットワーク協議会)	武蔵村山市民会館 (さくらホール) 小ホール
12月7日(土)	第71回人権週間行事「講演と映画の集い in 東大和」	東大和市民会館ハミングホール 大ホール
①11月9日(土) ②11月16日(土) ～17日(日)	ヒューマンライツ・フェスタ東京 2019	①新宿駅西口広場イベントコーナー ②東京国際フォーラム
1月26日(日)	令和元年度多摩東人権啓発活動地域ネットワーク協議会事業「講演と映画の集い」	くにたち市民芸術小ホール

(3) マスメディア (ラジオ)

人権問題に関する理解を促進し、その解決を図るため、ラジオの媒体特性を活かし、分かりやすく、定期的かつ継続的な番組を提供した。幅広い層の都民に啓発を行うことを目的として、様々な人権問題をテーマにした取材や、人権啓発イベントの紹介など、リスナーに分かりやすく身近な話題を取り上げた啓発番組を提供した。

番組タイトル: 「人権TODAY」 (TBSラジオ「蓮見孝之まとめて!土曜日」内)

放送日時: 毎週土曜日 午前8時20分頃から5分間

(4) 広告

① ポスターの作製・掲出等

人権啓発ポスターを作製し、人権週間を中心に交通機関へ掲出するとともに、東京都や各区市町村、都内公共施設、学校等に配布・掲出依頼した。

平成28年度から継続して、世界人権宣言の条文をモチーフにしたデザインのポスターを作製している。世界人権宣言は、すべての人間が生まれながらに基本的人権を持っていることを基本に、自由権、参政権、社会権をも保障する現代的で包括的な人権宣言であり、人権に関する基本に立ち返るためにポスターを作製した。

平成29年度からは、より幅広い年代に人権をアピールできるよう、一般の方に向けたデザインと学校向けに特化したデザインの2種類を作製している。

作製枚数: 人権週間用 10,460枚 (うち、一般配布用10,160枚、学校配布用300枚)
通年用 5,000枚 (うち、一般配布用2,000枚、学校配布用3,000枚)

掲出: 都内各交通機関 (都営地下鉄・JR線・各私鉄等駅構内、鉄道やバス等の車内広告)

配布先: 東京都、区市町村、ハローワーク、公立図書館、公立小・中学校、都立高等学校・特別支援学校、都内大学・短期大学、関係団体等

② 啓発物品の作製・配布

普及啓発活動の一環として啓発物品を作製し、主催行事及び協賛行事等において配布した。また、人権啓発用として、区市町村にも配布した。

作製物品: シャープペンシル 22,000本ほか2種類

配布先: 人権啓発イベント参加者、都内区市町村等

2 講演・講座・研修等及び相談事業（定款第4条第2号）

(1) 人権問題都民講座

人権問題に関する一般向けの講座を実施するとともに、各講座に関連するフォローアップ企画を実施した。第6回は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から中止とした。

<実施状況>

	実施日 実施会場	テーマ	講師	受講者 数
第1回	5月25日(土) 人権プラザ セミナー ルーム	いのちをつなぐ 若年世代の自殺対策	小幡 大仁	84名
		<フォローアップ企画> 映画「happy-しあわせを探すあなたへ」上映	—	(45名)
		日本における20代の死因の約50%は自殺である（平成30年版自殺対策白書）。厚生労働省の「自殺対策に関する意識調査」（平成28年度）によると、自殺を考えたことがある人に、どのように乗り越えたかを聞いたところ、「家族や友人、職場の同僚など身近な人に悩みを聞いてもらった」と答えた人の割合は32.1%と高い数値を示した。一方で「大切な人からの相談にどう答えていいかわからない」という人が多いことも、支援を進める団体の活動を通じてわかってきた。 若者の自殺問題を「こころの病の予防」という観点から解決することを目指し、若者が若者を支える仕組みづくりに取り組んでいる団体から講師を招き、その具体的な取組内容を伝えてもらい、一人ひとりができることを考える講座。		
第2回	7月27日(土) 人権プラザ セミナー ルーム	仕事〔ワーク〕 ～働くことと差別の問題を考える～	佐川 光晴	100名
		<フォローアップ企画> 講座の導入解説「江戸時代の斃牛馬処理や明治以降の食肉生産の歴史について」	当センター 専門員	(100名)
		と畜解体、すなわち食肉生産の仕事は、これまで「残酷さ」の比喻として用いられるなど、長く差別・偏見にさらされてきた仕事の一つである。と場で働いた経験を持つ、作家の佐川光晴氏を講師に招き、その仕事に就くことを選んだ理由や仕事を通じて感じたこと、得られたもの、働くことの意味についてどのように考えているのか話していただき、仕事と人権の問題について、職業差別を題材として考える講座。 主題となる食肉生産は、歴史的には同和問題と深い関わりがあることから、講座の導入として江戸時代の斃牛馬（へいぎゅうば）処理や、明治以降の食肉生産の歴史についての解説を当センター専門員が行った。		
第3回	9月25日(水)	私たち抜きに私たちのことを決めないで ～障害者権利条約が目指す社会とは～	藤井 克徳	84名
	9月28日(土)	<フォローアップ企画> 映画「星に語りて～Starry Sky～」上映	—	(38名)
	人権プラザ セミナー ルーム	東京2020パラリンピック競技大会開催を控えて、障害者の権利実現及び差別解消をさらに進める必要がある。また、障害者差別解消法（正式名称：障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律）施行から3年が経過し、「東京都障害者への理解促進及び差別解消の推進に関する条例」が施行されたことも踏まえて、各法令の理念と定められている各措置等や現在の課題についての理解を深めることを目的とした講座。		

第4回	11月2日(土)	現代のアイヌ語とアイヌ文化伝承を学ぶ ～アイヌ語入門とアイヌの人々～	中川 裕 瀧口 夕美	114名
	11月30日(土)	<フォローアップ企画> DVD「オルシベスウオプ アイヌのお話アニメ」上映	—	(17名)
	人権プラザ セミナー ルーム	東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に向けて、文化の多様性と共生社会の実現を目指して、より一層、多様な民族を理解することが必要となる。また、2019年4月にアイヌ新法(正式名称:アイヌの人々の誇りが尊重される社会を実現するための施策の推進に関する法律)が制定され、アイヌの人々への関心が高まりつつあることも踏まえ、アイヌの人々とその歴史、伝統文化への理解を深めることを目的とした講座。 前半は、アイヌ語研究の第一人者とされ、アイヌ語教育やアイヌ文化の普及に取り組んでいる中川裕氏が、アイヌ語を言語学と文化史の視点から解説し、アイヌの口承文芸の魅力を紹介。後半は、中川氏と、アイヌにルーツを持つ編集者の瀧口夕美氏による、アイヌ語とアイヌ文化伝承の現状についての対談を行った。		
第5回	1月30日(木)	スポーツと共生社会 ～東京 2020 大会を迎えるにあたって～	舛本 直文	54名
		<フォローアップ企画> 「1936年オリンピックベルリン大会記録映画『民族の祭典』」部分上映とトーク	当センター 専門員	(17名)
		「人権連続講座 2020 ～オリンピック・パラリンピックに向けて～」(全6回)の第1回として開催。 オリンピック・パラリンピックを巡ってこれまでに起きた様々な出来事や、その後の社会の変化等(例えば、女子競技と女性との社会進出の関係、人種や民族、地域格差等)について、スポーツ哲学やオリンピック文化論を専門とする講師が解説し、スポーツとスポーツイベントが社会に及ぼす影響について、人権の視点から理解を深める講座。 また、オリンピック・パラリンピックの「レガシー(遺産)」という考え方についても解説いただき、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会を通じて、私たちは何を手にすることができるのか、様々な視点から考える機会とした。		
第6回	2月22日(土)	『見えないスポーツ図鑑』体験会	伊藤 亜紗 渡邊 淳司	中止
		<フォローアップ企画> 東京ニュースNo.164「社会復帰への歌声—パラリンピック東京大会—」上映	—	中止
		港区立御田小学校 体育館 「人権連続講座 2020 ～オリンピック・パラリンピックに向けて～」(全6回)の第2回として開催を企画。 講師らが主宰するウェブコンテンツ「見えないスポーツ図鑑」では、手ぬぐいや鍋蓋、物干し竿など、一見スポーツとは関係のないアイテムを使うことで、視覚障害者とともにそのスポーツを体感できるユニークな方法が紹介されている。そうした事例を参加者が体験し、視覚を使わないからこそ見えてくる、それぞれのスポーツの本質を理解するとともに、障害の有無に関わらず、一体的にスポーツを楽しむ方法とは何かということ、参加者全員で考える講座。		
合 計				436名 (217名)

(2) 人権啓発指導者養成セミナー

① 学校における指導者養成（対象：教職員）

学校における人権教育・啓発のリーダーを育成するためのセミナーとして、教職員を対象とする講演会を行った。

<実施内容>

実施日：令和元年8月2日(金)

会場：東京都人権プラザ セミナールーム

講師：出口 真紀子（上智大学外国語学部教授）

講演：「人権教育の方法論を学ぶ～差別の心理学と立場の心理学～」

人権教育を進める上で、差別する人とされる人とを対立的に考えるのではなく、差別する側がどのような問題を抱えているのかを含めて考えることは、問題を解決するための教育的なアプローチとして効果的である。そのため、社会に差別があることを前提に、差別とどう向き合い、どのように解消していくかという視点が重要である。マジョリティの立場にいる人は、自分が強者側にいることになかなか気づけない。「特権は持っている人には見えにくい」という現状を認識し、なぜそれが自分に与えられているのかを考えてもらう講義。講師が自身の経験を基に人権教育の方法論について解説し、性別、性自認や性的指向、外国人等に関する人権課題を取り上げた。

参加者数：114名

② 企業等における指導者養成（対象：企業・団体等の人権研修担当者）

企業等における人権教育・啓発のリーダーを育成するためのセミナーとして、講演会を行った。

<実施内容>

実施日：令和元年11月26日(火)

会場：御茶ノ水トライエッジカンファレンス

講師：大江 亜紀香（一般社団法人イマココラボ SDGs ゲームファシリテーター）

講演：「SDGs がいま、企業に必要とされる理由—カードゲームを通じて“持続可能な”あり方を学ぶ」

2015年に国連サミットで採択されたSDGs（持続可能な開発目標）は、持続可能な社会の実現のために、貧困、エネルギー、成長・雇用、気候変動などについて、2030年を期限として定められた国際目標で、17のゴールと169のターゲットから構成されている。世界中の企業がSDGsを経営の中に取り込もうと力を注いでおり、日本においても、SDGsを経営に組み込むべく様々な取組が進められている。

SDGsに取り組む意義やメリットについてカードゲームを通じて学ぶことで、受講者が将来、企業や各種団体等においてSDGs推進の指導者となることを目指すとともに、SDGsへの認知度向上を図るためのセミナーを行った。

参加者数：45名

(3) 人権研修講師の出講

同和問題をはじめとする人権に関しての正しい理解と認識を深めるために、企業等が実施する研修に対し、講師出講を行った。

研修テーマは人権全般に関するものや個別の人権課題に関するものなど、研修申込団体の要望に合わせたオーダーメイドで実施している。

1時間あたりの料金 … 1時間以内：17,000円、1時間を超える：15,000円（税別）

委嘱講師数：10名

出講団体数：153団体

<出講状況>

出講先団体別区分	団体数	構成比	出講回数	構成比	受講者数	構成比
民間企業	38	24.84%	55	16.67%	3,608	14.10%
官公庁	68	44.44%	173	52.42%	14,669	57.34%
その他の団体	47	30.72%	102	30.91%	7,304	28.55%
合計	153	100%	330	100%	25,581	99.99%

(4) 研修企画受託

① 特別区講師等養成研修

特別区から人権問題に関する研修企画・実施業務を受託した。

研修名：講師等養成研修「人権・同和問題Ⅱ」

対象：特別区職員（一般職及び管理職）

内容：人権の基礎的知識の習得、フィールドワーク、講義実習

実施期間：令和元年5月17日(金)～6月14日(金)（各全日実施）

<実施内容>

実施日		テーマ・講師
1日目	5月17日(金)	「フィールドワークによる人権問題の理解」 「現代の人権侵害・東京の同和問題」 「江戸・東京の部落の歴史と浅草弾左衛門」 (浅草周辺のフィールドワークを含む)
2日目	5月21日(火)	国立ハンセン病資料館・多磨全生園フィールドワーク
3日目	5月30日(木)	東墨田地区フィールドワーク、 産業・教育資料室きねがわ、皮革工場見学他 「東京における皮革産業の現状」 「東京の同和問題と皮革産業」
4日目	6月4日(火)、 6月5日(水)	東京都中央卸売市場食肉市場フィールドワーク
5日目	6月14日(金)	ワークショップ「フィールドワークを研修に活かす」 「人権研修の取り組みの意味と求められる講師スキル」

参加者数：延べ143名

② 港区人権連続講座

港区から人権連続講座に関する企画・実施業務を受託した。

研修名：人権連続講座みなと2019

対象：港区在住・在勤・在学者、企業の人権担当者等

内容：フィールドワーク、講演、映画会・施設見学、体験講座

実施期間：令和元年10月3日(木)～11月23日(土)

<実施内容>

実施日		テーマ・講師
1日目	10月3日(木)	【講演】 2020オリパラ直前！いまから明日へ、バリアフリーへの旅がはじまる～世界の取組から知る最新事情～ 講師：松原 淳 (NPO法人健やかまちづくり理事)

2日目	10月15日(火)	【フィールドワーク・レザークラフト体験】 浅草から「きねがわ」へ 東京の皮革産業の歴史といま 講師(午前)：東京都人権啓発センター専門員 講師(午後)：岩田 明夫(産業・教育資料室きねがわ)
3日目	11月1日(金)	【講演】 出所後の社会復帰を支える ～更生した人を犯罪者と呼ばない社会に～ 講師：渡辺 道代(株式会社キューピットワタナベ：協力雇用主)
4日目	11月13日(水)	【映画会・施設見学】 世界の子供たちを知る ～映画とユニセフハウス見学で学ぶ”こどもの人権”～ 映画作品：「世界の果ての通学路」 施設見学：ユニセフハウス
5日目	11月23日(土)	【講演】 性暴力サバイバーが立ち上がる時 ～取材と撮影を通して1サバイバーが学んだこと～ 講師：大藪 順子(フォトジャーナリスト)

参加者数：延べ163名

(5) 人権問題体験学習会の実施

小・中学校を主な対象として、様々な人権問題に関する体験学習会を実施した。学校における人権教育に関する支援事業として、体験的要素を含む学習会(ワークショップ等)及び交流的要素を含む学習会(講演等)を実施した。実施に当たっては、当センターから学習会プログラムを都内小・中学校に配布し、学校からの申込みに基づいて各学校の担当者と具体的な内容を検討の上、実施の可否を検討し、学習会をコーディネートした。

実施回数：29回

<実施状況>

	学校名(会場)	実施日	実施内容	参加者数
1	杉並区立天沼中学校	5月18日(土)	LGBT学習会	113
2	東村山市立秋津東小学校	6月12日(水)	ボッチャ体験学習会	75
3	墨田区立第四吾嬬小学校	6月15日(土)	車椅子バスケットボール講演会	331
4	杉並区立荻窪中学校	6月17日(月)	車椅子バスケットボール講演会	240
5	北区立赤羽小学校	6月18日(火)	ゴールボール体験学習会	64
6	八丈町立三原小学校 八丈町立三原中学校	6月22日(土)	ブラインドサッカー講演会	122
7	墨田区教育委員会	6月24日(月)	多文化共生体験学習会	110
8	目黒区立中目黒小学校	6月28日(金)	補助犬ふれあい授業	109
9	町田市立小山ヶ丘小学校	7月4日(木)	車椅子バスケットボール体験学習会	155

10	福生市立福生第七小学校	9月11日(水)	視覚障害者とともに学ぶ	39
11	奥多摩町立古里小学校	9月25日(水)	ブラインドサッカー体験学習会	67
12	清瀬市立清瀬第八小学校	10月8日(火)	バリアフリー／ユニバーサルデザイン学習会	66
13	東京都立調布特別支援学校	10月25日(金)	車椅子バスケットボール体験学習会	134
14	練馬区立石神井西小学校	10月29日(火)	タッチ先生のふれあい授業	273
15	町田市立鶴川第二中学校	11月6日(水)	タッチ先生のふれあい講演会	807
16	足立区立東綾瀬小学校	11月7日(木)	補助犬ふれあい授業	80
17	葛飾区立青戸小学校	11月9日(土)	タッチ先生のふれあい講演会	742
18	西東京市立東小学校	11月18日(月)	ゴールボール体験学習会	69
19	足立区立本木小学校	11月19日(火)	視覚障害者とともに学ぶ	87
20	江戸川区立第五葛西小学校	11月20日(水)	ボッチャ体験・講演会	507
21	中野区立桃園第二小学校	12月4日(水)	ブラインドサッカー体験学習会	64
22	北区立柳田小学校	12月13日(金)	補助犬ふれあい授業	50
23	江東区立辰巳小学校	12月18日(水)	ブラインドサッカー体験学習会	39
24	羽村市立松林小学校	1月18日(土)	車椅子バスケットボール体験学習会	71
25	世田谷区立二子玉川小学校	1月24日(金)	タッチ先生のふれあい講演会	800
26	東京都立向丘高等学校	2月5日(水)	バリアフリー／ユニバーサルデザイン講演会	328
27	千代田区教育委員会	2月6日(木)	LGBT 学習会	20
28	板橋区立中台小学校	2月15日(土)	タッチ先生のふれあい授業	357
29	八王子市立別所小学校	2月20日(木)	ボッチャ体験学習会	72
合 計				5,991名

(6) 子供人権教室の実施

子供（小・中学生、高校生を想定）を対象に、人権課題に触れるワークショップ形式の講座を行った。第2回は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から中止とした。

第1回

<実施内容>

実 施 日：令和元年8月17日(土)

会 場：東京都人権プラザ セミナールーム
 講 師：中島 早苗（特定非営利活動法人フリー・ザ・チルドレン・ジャパン代表理事）
 テー マ：「もっと知りたい！世界のともだちのこと ～ゲームやおはなしで学ぼう、
 こどもの権利条約」
 内 容：「こどもの権利条約」について楽しみながら学ぶ体験型・対話型のワークショ
 ップを行った。児童労働カードゲームでは、子供が陥った状況が条約のどの条
 文の権利を侵害しているか、カードの人生・子供の気持ち等を考え発表した。
 また、いじめにあった日本の子供や海外の元少年兵のスピーチ動画、講師らの
 子供支援活動の紹介、ワークシートでの振り返りを通じて、こどもの権利につ
 いて考えてもらう機会とした。
 参加者数：30名（ほか保護者等20名、見学者8名）

第2回

<実施を予定していた内容>

実 施 日：令和2年3月14日(土)

会 場：東京都人権プラザ セミナールーム

講 師：広辺 和隆（絵本専門士。JPIC読書アドバイザー）

テ ー マ：「マンガ・絵本・小説から考える『人権』～『ドラえもん』から『僕のヒー
 ローアカデミア』まで～」

内 容：子供達が日頃触れているマンガや絵本などの中には、他者を思いやろうとする
 気持ちや他者との接し方など、人生を生きるためのヒントがあふれている。15
 冊程度の題材を使用し、マンガや絵本などで描かれるエピソードを通じて、個
 性や仲間ということについて、考えるきっかけとする。

(7) 人権学習会の実施

人権プラザを見学する団体（学校・企業・自治体等）の依頼に応じて、当センター専門員
 が講師となり、学校の児童・生徒や教職員をはじめ、行政職員、人権擁護委員等に対し、展
 示の解説や人権問題をテーマにした講義、ポッチャなど障害者スポーツの体験、浅草周辺地
 域のフィールドワーク等を実施した。また、修学旅行や総合学習の受入れも行った。

対応団体数：延べ164団体

<利用団体の内訳>

利用団体	団体数 (延べ数)	団体数 (実数)	備 考
民間企業	15	12	
官公庁（教育委員会を含む）	48	33	
学校	83	82	
幼稚園	2	2	未就学児対象2
小学校	19	18	児童対象12（うち修学旅行2）、 教職員対象7
中学校	47	47	生徒対象44（うち修学旅行43）、 教職員対象3
小学校・中学校	1	1	教職員対象1
高等学校	11	11	生徒対象11（うち修学旅行8）
特別支援学校	1	1	教職員対象1
大学	2	2	学生対象2
その他	18	17	人権擁護委員等
計	164	144	

<参加者の内訳>

参加者	参加者数	割合	備考
一般	435	6.0%	
行政職員	472	6.6%	
教職員等	1,782	24.7%	
児童・生徒（引率者を含む）	4,206	58.4%	
未就学児	163	2.3%	
小学生	711	9.9%	うち修学旅行 112名
中学生	2,317	32.2%	うち修学旅行 2,310名
高校生	1,015	14.1%	うち修学旅行 295名
大学生・大学院生	41	0.6%	
看護学生	39	0.5%	
人権擁護委員等	113	1.6%	
その他	118	1.6%	
計	7,206	100%	

※各項目の割合は小数点第2位を四捨五入しているため、内訳の計と合計が一致しない場合がある。

(8) 人権に関する相談

① 当センターの人権相談員が相談に応じる「一般相談」と弁護士が相談に応じる「法律相談」及び「インターネットにおける人権侵害」に関する法律相談を実施した。

一般相談件数：1,092件 法律相談件数：73件 インターネット法律相談件数：27件
合計：1,192件

ア 内容相談内訳

(一般相談)

人権課題別	件数
1 女性	26
2 子供	23
3 高齢者	35
4 障害者	128
5 同和問題	4
6 アイヌの人々	0
7 外国人	16
8 HIV感染者等	1
9 犯罪被害者やその家族	4
10 インターネットによる人権侵害	61
11 北朝鮮による拉致問題	0
12 災害に伴う人権問題	0
13 ハラスメント	75
14 性自認	6
15 性的指向	11
16 路上生活者	1
17 その他の人権	38
小計	429
21 行政一般	48
22 生活一般	336
50 その他(どの区分にも属さない)	279
小計	663
合計	1,092

内容分類別	件数
A 暴行虐待	19
B 医療・介護・福祉施設等	33
C 就労・労働環境等	67
D 消費トラブル	0
E 家族関係	57
F 住宅問題・近隣関係	12
G 教育関係	20
H 財産・相続関連	4
I えせ同和行為	0
J 団体照会・その他	2
K 誹謗中傷・噂	57
L 盗難・盗聴・尾行	11
M 差別的取扱い等	26
N 差別表現	4
O 行政施策	7
P 行政職員の対応	41
Z その他	69
合計	429

相談経路別	件数
電話	986
Eメール	66
文書	0
面接	40
その他	0
合計	1,092

※左記「人権課題別」集計のうち、1～17の人権課題に分類されたものについてその内容別に集計した

(法律相談)

内容分類	件数
A 土地・建物	3
B 債権・債務	1
C 親族・家族	9
D 相隣・環境	1
E 損害賠償	7
F 訴訟手続	6
G 相続・贈与	4
H 労働問題	9
I プライバシー・名誉権	7
J その他	26
合計	73

相談経路別	件数
電話	35
面接	38
その他	0
合計	73

(「インターネットにおける人権侵害」に関する法律相談)

内容分類	件数
A 名誉毀損・信用毀損	18
B プライバシー侵害 (住所・電話番号・メールアドレス等漏出)	6
C プライバシー侵害 (写真・映像などの肖像権侵害)	6
D プライバシー侵害 (過去の犯罪事実流出)	0
E プライバシー侵害 (その他)	4
F 著作権侵害	1
G その他の権利侵害	1
H その他	1
合計	37

相談経路別	件数
面接	27
その他	0
合計	27

※1回の相談で複数の相談内容はそれぞれ計上する。

イ 相談経路別内訳

相談経路別	件数
電話	1,021
Eメール	66
文書	0
面接	105
その他	0
合 計	1,192

- ② 人権週間における取組として、弁護士が相談に応じる「特別法律相談」を実施した。

<夜間人権ホットライン>

実施日時： 令和元年12月5日(木) 午後5時～午後8時

内 容： 法律に関連する相談

受付方法： 電話

相談件数： 17件

3 情報収集・提供、調査研究等の事業（定款第4条第3号）

(1) 図書資料の閲覧、貸出

人権問題に関する図書資料及び視聴覚教材等を収集し、閲覧・貸出を行った。

蔵書数：14,105冊 うち令和元年度の図書収集数：320冊

利用者数：1,384名

貸出冊数：1,618冊

(2) 視聴覚教材等の貸出

地域や人権関係団体、企業の研修会等の利用に供するため、視聴覚教材等の貸出を行った。

保有数：VHS・DVD 845本 うち令和元年度収集数：53本

貸出本数：VHS・DVD 353本

(3) インターネットホームページによる情報の発信

当センター及び東京都人権プラザのインターネットホームページにより、それぞれの活動目的や事業内容、人権関係情報等を提供した。

① 当センターホームページ

アクセス利用件数：473,770件

アクセス回数：504,351件

② 東京都人権プラザホームページ

アクセス利用件数：98,014件

アクセス回数：135,207件

(4) 図書資料室関連事業

図書資料室の利用促進及び利用者層の拡大のため、図書資料を活用した様々な行事を3回、実施した。

第1回

<実施内容>

実施日：令和元年10月19日(土)

会場：東京都人権プラザ セミナールーム

講師：中村 伸子・佐藤 満喜子（絵本専門士）

テーマ：絵本専門士によるお話会「おまたせクッキー」ほか ワークショップ 花独楽作り

内容：絵本専門士による絵本の読み聞かせ（「おまたせクッキー」他）のあと、3枚の色の違う折り紙を組み合わせた花独楽づくりを行った。

参加者数：23名

第2回

<実施内容>

実施日：令和元年12月21日(土)

会場：東京都人権プラザ セミナールーム

講師：鳴原 晶子・斉藤 千尋（絵本専門士）

テーマ：絵本専門士によるお話会「どんなかんじかなあ」ほか ワークショップ クリスマスカード作り

内容：絵本専門士による絵本の読み聞かせ（「どんなかんじかなあ」ほか）のあと、パステルを使ったクリスマスカードづくりを行った。

参加者数：16名

第3回

<実施内容>

実施日：令和2年1月18日(土)

会場：東京都人権プラザ セミナールーム

講師：広辺 和隆・水上 祐佳（絵本専門士）

テーマ：たくさんの絵本の中から、皆さんのリクエストで読む本が決まるお話会！

内容：絵本専門士が読み聞かせを行うだけでなく、参加者からのリクエストにも応じ、読み聞かせを行った。また、その絵本だけでなく、関連する絵本や作者のことなどの紹介も行った。

参加者数：8名

4 出版物等の発行事業（定款第4条第4号）

(1) 人権情報誌「TOKYO人権」の発行

人権に関する様々な問題を取り上げるとともに、当センターの活動状況、人権プラザの紹介、東京都・区市町村のイベント情報などを掲載し、人権に関する情報を広く都民に提供した。

発行回数：4回

発行部数：各17,500部

配布先：東京都、都内区市町村、道府県、ハローワーク、公立図書館、男女平等参画センター、保健所、企業・関係団体、都内公立小・中学校、都立高等学校・特別支援学校、都営地下鉄駅等

<発行内容>

号数 発行年月	テ ー マ ・ 内 容
第82号 令和元年 7月	<p>インタビュー：秋山正子（認定NPO法人マギーズ東京共同代表理事） 「高齢者やがん患者が『自分らしく生きる』ことを支える場所をつくる『暮らしの保健室』と『マギーズ東京』」 新宿区にある大規模団地の都営戸山ハイツに、2011年「暮らしの保健室」を開設し、訪問看護に力を注いできた秋山さんは、2016年には江東区豊洲にがん患者と家族のための「マギーズ東京」を設立した。高齢化率、独居率が高い地域での取組や、がん患者とその周囲の人々が気軽に相談できる居場所づくりの中で、さまざまな課題に向き合ってきた秋山さんに、これまでの経緯や現在の思いを聞いた。</p> <p>特集：「3つの事例で学ぶ、人権と映画」 映画には、記録（アーカイブ）や宣伝（プロパガンダ）、娯楽（エンタテインメント）の機能とともに、教育的な側面がある。啓発と映画は、実は相性がよく、人権について深く掘り下げたものや、人権問題を学べる作品も数多くある。映画を通じて人権を学ぶためのアプローチを、映画作品、映画祭、映像ライブラリーの活用を例に紹介した。</p> <p>コラム：「優れたドキュメンタリー映画を観る会 一本の映画と出会う」 約20年にわたり、ミニシアターを中心にドキュメンタリー映画の上映会を主宰してきた飯田光代さんに、上映運動とそのきっかけとなった作品について取材した。</p>

<p>第 83 号 令和元年 11 月</p>	<p>インタビュー：頭木弘樹（文学紹介者） 「救いとしての『絶望名言』— 弱さやつらさを支える文学」 大学生のときに難病「潰瘍性大腸炎」と診断され、入退院を繰り返す中で、カフカの小説『変身』などの文学作品に傾倒し、絶望した心を救われた頭木さんに、ご自身が言う「絶望名言」とはどのようなものか、難病を経験して感じた社会のあり方や、弱さやつらさを抱えた人たちの支えとなるものは何かについて聞いた。</p> <p>特集：「“誰も取り残さない” 未来のために～SDGsに『人権』が必要な理由～」 気候変動や貧困、資源の枯渇など、私たちの社会は地球規模の課題に直面し、将来、安定した暮らしができなくなるといわれている。この状況に取り組むため、国連サミットで「SDGs（エスディーゼズ：持続可能な開発目標）」が掲げられ、その前文には「誰一人取り残さないことを誓う」「すべての人々の人権を実現する」と明記されている。SDGsについての解説と、SDGsに人権的視点が必要とされる理由を考えるツールとしてカードゲームを紹介した。</p> <p>コラム：「誰もが自由に旅を楽しめる街に 電動車いす利用の外国人旅行者をおもてなし！」 身体に障害のある外国人旅行者向けに、日本の観光情報を英語で紹介するWEBサイトを運営するグリズデイル・バリージョシュアさんは、電動車いす利用者の視点から情報を発信している。WEBサイト開設のきっかけや、来日する電動車いす利用の旅行者のために私たちができることを聞いた。</p>
<p>第 84 号 令和 2 年 3 月</p>	<p>インタビュー：ライラ・カセム（グラフィックデザイナー、東京大学先端科学技術研究センター特任助教） 「アートは誰にでも対等—アートの可能性を広げたい」 グラフィックデザイナーとして、障害者と共にアート作品をデザインし、商品開発に取り組んでいるライラさんは、アートは障害者の可能性を広げるとともに、社会参加の機会を増やし経済的自立にもつながると考え、福祉施設やさまざまなプロジェクトの活動に参加している。ライラさんがデザインを通じて考える障害者と社会の関係について聞いた。</p> <p>特集：「人権のミュージアムへ行こう」 都内には人権問題をテーマにしている、またはそれに関係している博物館や資料館、図書館などの施設がある。人権についての研修や修学旅行、人権学習等の機会に、こうした施設を訪問する人も多く、団体訪問の需要は高まっている。人権を学ぶ一つのきっかけとして、そうした「人権のミュージアム」と呼べるような施設の中から、5つの施設を紹介した。</p> <p>コラム：「出所した人と社会をつなぐ『マリアカフェ』『罪を犯した人』としてではなく、『一人の人間』として」 刑を終えて出所した人にはネガティブなイメージを抱き、距離を置いてしまいがちである。しかし、そのような感情や偏見・差別が、社会復帰をしようと努力している当事者を排除し、孤立させることにつながっている。受刑者や刑を終えた人の社会復帰を支援するNPO 法人代表の五十嵐弘志さんに、これまでの活動の経緯や取組、思いを聞いた。</p>

<p>第 85 号 令和 2 年 3 月</p>	<p>インタビュー：安田菜津紀（フォトジャーナリスト） 「『対話』をする喜び —私が写真を通して伝えたいこと」 フォトジャーナリストとして国内外を駆け回り、社会問題やそこに生きる人々の思いを伝え続けている安田さんは、報道番組のコメンテーターや講演なども務めながら、2019年3月にNPO法人 Dialogue for People を設立した。安田さんが取材を通して体験してきたことや、写真や文章を通して伝えたいこと、国際協力の本当の意味などについて聞いた。</p> <p>特集：「みんなが安心できる場所をつくる。～プライドハウス東京 2020 が目指すもの～」 東京2020大会に合わせてオープン準備が進められている「プライドハウス東京 2020」は、LGBT（LGBTQ）に関する正しい理解を広げるための情報提供や、当事者にとって安心・安全な居場所として機能するもので、このプロジェクトに関わるさまざまなプログラムが企画されている。プライドハウスの歴史や仕組み、東京ではどのような展開が行われるのか、その取組を取材した。</p> <p>コラム：「『食べる・遊ぶ・笑う こども食堂』って？ 全国の『こども食堂』を多世代交流の拠点に！」 「NPO 法人全国こども食堂支援センター・むすびえ」は、2019年から東京おもちゃ美術館と協働で、全国で「食べる・遊ぶ・笑う こども食堂」を開催している。その背景や目的について、マネージャーの三島理恵さんに聞いた。</p>
----------------------------------	--

5 人権啓発関係施設の管理運営等 (定款第4条6号)

(1) 東京都人権プラザの管理運営

東京都人権プラザの管理運営に関する業務を実施した。

① 東京都人権プラザ年間入場者数

15,868名

② セミナールーム利用実績

件数	163
時間	306
人数	5,941

(2) 東京都人権プラザ展示室の運営

東京都人権プラザ展示室の運営及び企画展開催業務を受託し、実施した。企画展第Ⅲ期は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から人権プラザが臨時休館となったことから、会期を予定より1か月延長したが、臨時休館延長によって実質的には3月2日までの公開となった。また、同じ理由により第Ⅲ期の第3回付帯事業は中止とした。

年間入場者数：8,543名

<企画展等実施状況>

	実施期間	実施会場	展示名称 付帯事業名称 (受講者数等)
人権プラザ企画展 (第Ⅰ期)	4月16日(火)から 6月29日(土)まで	人権プラザ 企画展示室	「東京で考える“災害と人権” 熊本震災と 障害者を受け入れた避難所—熊本学園大 学・激動の45日」展
	<p>東日本大震災から8年が経過したが、それ以降も日本各地で大規模な災害が頻発し、被害の激甚化も指摘されている。被災した人々は様々な人権上の問題にさらされている。中でも、災害時要配慮者、いわゆる“災害弱者”と言われる人々—障害者、高齢者、子供、外国人、病气療養中の人など、平常時に社会的に弱い立場にある人々—にとっては、災害発生時から避難生活、生活再建に至るプロセスにおいて被害の度合いはもとより、人権上の問題もより増幅されやすいと言える。</p> <p>そこで本展では、2016年4月14日・16日に最大震度7を記録した熊本地震において、大学校舎を避難所として一般に開放し、高齢者や障害者も含めて受け入れたインクルーシブな避難所を運営した熊本学園大学の取組に学ぶことを目的とした。</p> <p>過去の優れた事例に学びつつ、東京でも起こりうる大規模災害時に、誰もが経験することになる災害時の人権課題について学ぶ機会を提供した。</p>		
付帯事業	5月11日(土)	人権プラザ セミナールーム	講演会「人権を保障するインクルーシブな 避難所とは」(141名)

人権プラザ企画展 (第Ⅱ期)	8月17日(土)から 11月30日(土)まで	人権プラザ 企画展示室	「儀間比呂志 絵本『ツルとタケシ』原画展」
	<p>1907(明治40)年の「癩予防ニ関スル件」制定に始まるわが国のハンセン病患者の隔離政策は、1996(平成8)年に「らい予防法」が廃止されるまで続いた。1998(平成10)年には熊本地裁に「らい予防法違憲国家賠償請求訴訟」が提訴され、その判決を契機に国は患者・回復者の方々に謝罪し、名誉回復、社会復帰支援策が採られている。</p> <p>しかし、ハンセン病に対する差別、偏見は未だに根強く存在しており、そうした差別、偏見を無くすためには、啓発活動を続けることが必要である。</p> <p>そこで本展では、沖縄出身の版画家・儀間比呂志氏による、ハンセン病を主題とした絵本『ツルとタケシ』の原画展示を通して、幅広い世代に対して、ハンセン病について学ぶ機会を提供した。</p>		
付帯事業	①9月7日(土) ②10月5日(土) ③11月19日(火)	人権プラザ セミナー ルーム	①講演会「病み棄ての戻り道」(51名) ②講演会「ハンセン病と沖縄：沖縄愛楽園から伝えたいこと」(59名) ③ラジオドキュメンタリーを聞く(40名)
人権プラザ メッセージ展	8月21日(水)から 8月31日(土)まで	人権プラザ ピエギャラー	「心と体を傷つけられて亡くなった天国の子供たちのメッセージ」展
	<p>夏休みが明けて新学期が始まる日は、子供の自殺が多い特異日となっており、神奈川県内の図書館が、Twitterを通じて「学校が始まるのが死ぬほどつらい子は、学校を休んで図書館へいらっしやい」と呼びかけたことは記憶に残るところである。</p> <p>東京都人権プラザは児童・生徒も利用する施設であり、こうした状況に対して何らかの働きかけを行うべく、平成30年度に続き、特定非営利活動法人ジェントルハートプロジェクトの協力を得て、いじめ等により心と体を傷つけられて亡くなった子供たちのメッセージ展を開催した。</p> <p>夏休みが終わるタイミングに合わせて本展を開催し、来場者がこの展示を通して、奪われた子供たちの命について思いをめぐらし、子供の安全と権利について考える機会としてくれることを開催目的とした。</p>		
付帯事業	①8月21日(水) ②8月24日(土)	人権プラザ セミナー ルーム	①オープニングトーク(40名) ②トークセッション(82名) ①②とも終了後にビデオ「ほんとの空」を上映
クローズアップ 人権コーナー 展示更新	10月5日(土)から 令和2年9月末 (予定)まで	人権プラザ 展示室	いま知りたい! ユニバーサルデザイン2020
	<p>東京2020パラリンピック競技大会開催を控え、改めてユニバーサルデザインについて考える企画。その成り立ちの歴史についての解説やユニバーサルデザインを巡る様々な考え方を、具体事例を用いて紹介するとともに、国内の最新事例を取り上げる展示とした。</p>		

	1月18日(土)から 3月28日(土)まで (4月30日(木)まで 延長)	人権プラザ 企画展示室	「STAND & STAND Still 写真展： 性暴力サバイバーフォトプロジェクト」
人権プラザ企画展 (第Ⅲ期)	<p>性暴力被害者が性暴力によって奪われた自尊心を修復することは、果てしなく長い道のりである。さらに、性暴力被害に対しては「被害者にも落ち度がある」といった偏見が根強く、また、他人に知られたくないという被害者の思いもあり、被害を訴え出ることが容易でない状況が続いている。</p> <p>そこで本展では、自身も性暴力被害者であるフォトジャーナリストの大藪順子氏による性暴力サバイバーの声を伝える写真プロジェクト「STAND」及びその第二弾プロジェクトとなる「STAND Still」を展示した。</p> <p>写真が写し出すのは、性暴力被害による恐怖や悲しみ、憎しみを乗り越え、サバイバーたちが立ち上がる（STAND）姿であると同時に、行き詰まりたらずむ（STAND Still）姿でもある。自分自身のかげのない人生を取り戻すために、このプロジェクトに参加したサバイバーたちの姿を通して、性暴力被害の実情とサバイバーたちの心の痛みを知り、他人の人権を尊重することの大切さを知る機会を提供した。</p>		
付帯事業	① 1月25日(土) ② 2月14日(金) ③ 3月7日(土)	人権プラザ セミナー ルーム	① ギャラリートーク (57名) ② 講演会「ビジュアル情報から考えるメディア倫理と私たち」(61名) ③ 朗読会「女性たちのモノログ：わたしがわたしであるために」(中止)

<出張展示及び展示関連実施状況>

ア 出張展示：18回

展示先	実施期間	実施会場	実施内容
憲法週間行事「トークショーと映画の集い in 中央区」(東京都人権啓発活動ネットワーク協議会)	5月9日(木)	中央区立日本橋公会堂	「読む人権 じんけんのほん」、著名人メッセージパネル、啓発ポスター
就職差別解消促進月間事業 人権啓発映画会(台東区共催)	6月4日(火)	台東区生涯学習センター ミレニアムホール	「読む人権 じんけんのほん」
企業内人権啓発行事	8月5日(月)から 8月7日(水)まで	明治安田生命本社ビル 丸の内 MY PLAZA アトリウム	障害者スポーツ解説パネル、TOKYO人権75号インタビュー記事パネル
子どもたちからの人権メッセージ発表会(多摩東人権啓発活動地域ネットワーク協議会)	9月14日(土)	ルネこだいら(小平市民文化会館)中ホール	「読む人権 じんけんのほん」、著名人メッセージパネル、啓発ポスター

拉致問題啓発舞台劇公演（主催：政府拉致問題対策本部、東京都、立川市）	10月8日(火)	たましん RISURUホール（立川市市民会館）大ホール	「読む人権 じんけんのほん」、TOKYO 人権 73号
きねがわスタンプラリー2019	10月20日(日)	墨田区社会福祉会館	「よみがえった黒べえ」パネル、皮革工芸体験（犬のキーホルダー作り）、ボッチャ体験
全生園まつり	11月1日(金)から11月3日(日)まで	国立療養所多磨全生園コミュニティセンター	「読む人権 じんけんのほん」、啓発ポスター
ヒューマンライツ・フェスタ東京2019	11月9日(土)	新宿駅西口広場 イベントコーナー	ボッチャ体験、障害者スポーツ解説パネル
ヒューマンライツ・フェスタ東京2019	11月16日(土)から11月17日(日)まで	東京国際フォーラム ロビーギャラリー	クラフト教室「犬のキーホルダー製作体験」
企業内人権啓発行事	11月21日(木)から11月22日(金)まで	山崎製パン株式会社 本社会議室	世界人権宣言パネル、障害者スポーツ解説パネル、ボッチャ等障害者スポーツ競技用具一式、車椅子、関連書籍、「おもちゃに見る、じんけんの世界」
人権連続講座みなと2019 第5回「性暴力サバイバーが立ち上がる時」	11月23日(土)	港区立男女平等参画センター リーブラホール	「読む人権 じんけんのほん」、世界人権宣言パネル、啓発ポスター
浄土宗人権センター「子どもの人権に関する人権啓発パネル展」	12月2日(月)から12月6日(金)まで	大正大学3号館 1階ロビー	「おもちゃに見る、じんけんの世界」、関連書籍、世界人権宣言パネル、啓発ポスター
立川市人権学習事業2019	12月2日(月)から12月8日(日)まで	立川市女性総合センター アイム1階ギャラリー	世界人権宣言パネル、障害者スポーツ解説パネル、LGBTに関するパネル、著名人メッセージパネル、啓発ポスター、関連書籍
人権週間行事「講演と映画の集い in 東大和」（東京都人権啓発活動ネットワーク協議会）	12月7日(土)	東大和市民会館 ハミングホール 大ホール	「読む人権 じんけんのほん」、著名人メッセージパネル、啓発ポスター
墨田区社会福祉会館 人権講演会	12月7日(土)	墨田区社会福祉会館	「読む人権 じんけんのほん」、啓発ポスター
台東区「人権のつどい」	12月18日(水)	台東区立浅草公会堂	「読む人権 じんけんのほん」、世界人権宣言パネル、啓発ポスター

港区地域こぞって 子育て懇談会	1月25日(土)	港区役所9階 大会議室	「おもちゃに見る、じんけんの 世界」
講演と映画の集い (多摩東人権啓発活 動地域ネットワーク 協議会)	1月26日(日)	くにたち市民 芸術小ホール	「読む人権 じんけんのほん」、 著名人メッセージパネル、啓発 ポスター

イ パネル等貸出：17回

展示先	実施期間	実施会場	実施内容
多摩市平和展 「平和と人権 ミニパネル展」	7月21日(日)から 7月28日(日)まで	パルテノン多摩 大ホールホワイエ	「読む人権 じんけんのほん」 よりハンセン病に関する書 籍、TOKYO人権59号・76号イ ンタビュー記事パネル
中央区教育委員会 宿泊研修	8月22日(木)	中央区立柏学園 (千葉県柏市)	ボッチャ競技用具一式
人権に関する授業	9月3日(火)から 9月21日(土)まで	中央区立 中央小学校	ボッチャ競技用具一式、障害 者スポーツ関連書籍、点字図 書(絵本、触図等)
港区立豊岡いきいき プラザ「みなきてフ ェスティバル」	9月18日(水)	港区立豊岡いきい きプラザ	ボッチャ競技用具一式
学校内人権学習	9月24日(火)から 10月25日(金)まで	港区立筭小学校 多目的スペース	点字テプラ、白杖、点字打刻 機、ユニバーサルデザイング ッズ
学校内人権学習 (ボッチャ体験)	10月4日(金)から 10月7日(月)まで	江東区立 八名川小学校	ボッチャ競技用具一式
調布市公民館人権 啓発巡回展示 「子どもたちからの 人権メッセージ展」	10月4日(金)から 10月20日(日)まで	調布市東部公民館	「読む人権 じんけんのほ ん」、著名人メッセージパネ ル、啓発ポスター
	11月7日(木)から 11月17日(日)まで	調布市西部公民館	
	11月20日(水)から 12月1日(日)まで	調布市北部公民館	
学校内人権学習	10月7日(月)から 11月15日(金)まで	大田区立蒲田小学 校	「読む人権 じんけんのほん」 より外国人の人権に関する書 籍、絵本、コミック
全校ボッチャ大会	10月23日(水)から 10月24日(木)まで	江東区立八名川小 学校	ボッチャ競技用具一式
ボッチャ体験	11月9日(土)	学校法人みなと幼 稚園	ボッチャ競技用具一式

ボッチャ体験	11月18日(月)から 11月22日(金)まで	杉並区立 堀之内小学校	ボッチャ競技用具一式
ボッチャ体験	11月19日(火)	港区立豊岡いきい きプラザ	ボッチャ競技用具一式
板橋区人権啓発行事 「ダイバーシティフ ェア 2019」	11月20日(水)から 11月29日(金)まで	板橋区役所	「いろいろなりボン－アウ ェアネスリボンって何だろ う？」
学校内人権学習	11月29日(金)から 12月13日(金)まで	足立区立 本木小学校	「読む人権 じんけんのほん」 より書籍（高齢者、外国人、 インターネット、障害者、同 和）
企業内人権啓発行事	12月4日(水)から 12月5日(木)まで	株式会社不二家 社内会議室	ユニバーサルデザイング ッズ・パネル、高齢者疑似体験 キット、妊婦疑似体験キット、 ボッチャ等障害者スポーツ競 技用具、障害者スポーツ解説 パネル
多摩市人権のつどい パネル展『『あん』の 舞台 多磨全生園を 知ろう』	12月10日(火)から 12月15日(日)まで	多摩市関戸公民館 ギャラリー	「読む人権 じんけんのほん」 よりハンセン病に関する書 籍、DVD、TOKYO人権59号・76 号インタビュー記事パネル
大学内人権啓発授業	1月29日(水)から 2月5日(水)まで	国際基督教大学 保健体育学科	競技用車いす（バスケット車）、障 害者スポーツ解説パネル

6 その他の事業（定款第4条第7号）

・賛助会員制度

企業等とのパートナーシップの確立及び自主財源の確保により人権啓発諸事業の充実を図るため、賛助会員（団体、個人）を募った。

団体会員： 32団体 32口 960千円

個人会員： 53名 81口 162千円

合 計： 113口 1,122千円

7 決算

貸借対照表

令和2年3月31日現在

公益財団法人東京都人権啓発センター

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現 金 預 金	121,640,271	117,382,224	4,258,047
未 収 金	1,517,365	839,300	678,065
前 払 金	172,478	176,704	-4,226
棚 卸 資 産	511,770	487,041	24,729
貯 蔵 品	29,975	26,418	3,557
流動資産合計	123,871,859	118,911,687	4,960,172
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定 期 預 金	36,000,000	36,000,000	0
普 通 預 金 (都 債 用)	0	0	0
投 資 有 価 証 券	100,000,000	100,000,000	0
基本財産合計	136,000,000	136,000,000	0
(2) 特定資産			
人 権 啓 発 資 料 製 作 積 立 資 産	18,000,000	17,000,000	1,000,000
運 用 準 備 資 金	26,995,769	29,995,769	-3,000,000
特定資産合計	44,995,769	46,995,769	-2,000,000
(3) その他固定資産			
什 器 備 品	181,216	196,412	-15,196
リ ー ス 資 産	7,396,433	4,535,974	2,860,459
その他固定資産合計	7,577,649	4,732,386	2,845,263
固定資産合計	188,573,418	187,728,155	845,263
資産合計	312,445,277	306,639,842	5,805,435
II 負債の部			
1. 流動負債			
未 払 金	15,108,397	13,218,099	1,890,298
前 受 金	0	2,000	-2,000
短 期 リ ー ス 債 務	1,786,534	1,663,155	123,379
預 り 金	442,879	1,263,578	-820,699
賞 与 引 当 金	519,935	652,735	-132,800
未 払 法 人 税 等	1,357,500	1,854,900	-497,400
未 払 消 費 税 等	1,976,900	1,339,400	637,500
流動負債合計	21,192,145	19,993,867	1,198,278
2. 固定負債			
長 期 リ ー ス 債 務	5,609,899	2,872,819	2,737,080
固定負債合計	5,609,899	2,872,819	2,737,080
負債合計	26,802,044	22,866,686	3,935,358
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	101,000,000	101,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	(101,000,000)	(101,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
2. 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	184,643,233	182,773,156	1,870,077
(うち特定資産への充当額)	(35,000,000)	(35,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(44,995,769)	(46,995,769)	(-2,000,000)
正味財産合計	285,643,233	283,773,156	1,870,077
負債及び正味財産合計	312,445,277	306,639,842	5,805,435

貸借対照表内訳表

令和2年3月31日現在

公益財団法人東京都人権啓発センター

(単位:円)

科 目	公 益	収 益	法 人	内部取引消去	合 計
I 資産の部					
1. 流動資産					
現金預金	24,888,768	6,275,138	90,476,365		121,640,271
未収金	1,517,365	0	0		1,517,365
前払金	75,070	0	97,408		172,478
棚卸資産	511,770	0	0		511,770
貯蔵品	0	0	29,975		29,975
流動資産合計	26,992,973	6,275,138	90,603,748	0	123,871,859
2. 固定資産					
(1) 基本財産					
定期預金	0	0	36,000,000		36,000,000
普通預金(都債用)	0	0	0		0
投資有価証券	0	0	100,000,000		100,000,000
基本財産合計	0	0	136,000,000	0	136,000,000
(2) 特定資産					
人権啓発資料製作積立資産	18,000,000	0	0		18,000,000
運用準備資金	12,000,000	0	14,995,769		26,995,769
特定資産合計	30,000,000	0	14,995,769	0	44,995,769
(3) その他固定資産					
什器備品	0	2	181,214		181,216
リース資産	1,226,088	3,208,581	2,961,764		7,396,433
その他固定資産合計	1,226,088	3,208,583	3,142,978	0	7,577,649
固定資産合計	31,226,088	3,208,583	154,138,747	0	188,573,418
資産合計	58,219,061	9,483,721	244,742,495	0	312,445,277
II 負債の部					
1. 流動負債					
未払金	9,400,334	2,455,133	3,252,930		15,108,397
前受金	0	0	0		0
短期リース債務	697,766	566,155	522,613		1,786,534
預り金	294,072	0	148,807		442,879
賞与引当金	0	0	519,935		519,935
未払法人税等	0	1,287,500	70,000		1,357,500
未払消費税等	1,482,818	494,082	0		1,976,900
流動負債合計	11,874,990	4,802,870	4,514,285	0	21,192,145
2. 固定負債					
長期リース債務	528,322	2,642,426	2,439,151		5,609,899
固定負債合計	528,322	2,642,426	2,439,151	0	5,609,899
負債合計	12,403,312	7,445,296	6,953,436	0	26,802,044
III 正味財産の部					
1. 指定正味財産					
指定正味財産合計	0	0	101,000,000	0	101,000,000
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(101,000,000)		(101,000,000)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)		(0)
2. 一般正味財産	45,815,749	2,038,425	136,789,059	0	184,643,233
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(35,000,000)		(35,000,000)
(うち特定資産への充当額)	(30,000,000)	(0)	(14,995,769)		(44,995,769)
正味財産合計	45,815,749	2,038,425	237,789,059	0	285,643,233
負債及び正味財産合計	58,219,061	9,483,721	244,742,495	0	312,445,277

正味財産増減計算書

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

公益財団法人東京都人権啓発センター

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	234,601	741,616	-507,015
基本財産受取利息	234,601	741,616	-507,015
特定資産運用益	4,554	2,950	1,604
特定資産受取利息	4,554	2,950	1,604
受取取会費	1,122,000	1,140,000	-18,000
賛助会員受取会費	1,122,000	1,140,000	-18,000
事業収益	14,249,707	16,190,726	-1,941,019
普及啓発事業収益	56,500	1,196,600	-1,140,100
研修事業収益	14,193,207	14,994,126	-800,919
受取補助金等	87,901,970	89,604,765	-1,702,795
受取東京都補助金	87,901,970	89,604,765	-1,702,795
受取人権プラザ事業収益	110,590,550	102,373,528	8,217,022
公益目的事業収益	75,926,550	68,685,528	7,241,022
施設管理運営事業収益	34,664,000	33,688,000	976,000
経常収益計	214,103,382	210,053,585	4,049,797
(2) 経常費用			
事業費	195,059,225	178,619,294	16,439,931
役員報酬	9,687,053	9,636,025	51,028
給与手当	71,369,398	60,449,149	10,920,249
賞与引当金繰入	519,935	652,735	-132,800
福利厚生費	12,761,967	12,000,329	761,638
支払手数料	203,153	82,126	121,027
会議費	29,827	21,701	8,126
職員研修費	367,010	428,894	-61,884
旅費交通費	1,052,280	659,223	393,057
通信運搬費	2,527,120	3,024,281	-497,161
消耗品費	8,611,420	9,828,767	-1,217,347
図書購入費	3,550,126	3,765,519	-215,393
印刷製本費	4,619,775	2,448,890	2,170,885
光熱水費	731,045	912,040	-180,995
賃借料	2,763,385	3,089,750	-326,365
委託料	48,842,662	48,051,294	791,368
諸謝金	19,636,898	18,287,242	1,349,656
諸会費	5,000	0	5,000
修繕費	476,130	83,160	392,970
保険料	21,920	0	21,920
租税公課	3,750,950	3,505,900	245,050
寄付金	1,695,840	0	1,695,840
雑費	17,810	103,805	-85,995
減価償却費	1,818,521	1,588,464	230,057

科 目	当年度	前年度	増 減
管 理 費	14,169,849	16,567,099	-2,397,250
役 員 報 酬	3,881,339	4,286,669	-405,330
給 与 手 当	4,200,862	5,354,723	-1,153,861
福 利 厚 生 費	1,751,499	1,855,655	-104,156
支 払 手 数 料	971,047	1,517,147	-546,100
会 議 費	39,183	29,264	9,919
職 員 研 修 費	31,070	18,026	13,044
旅 費 交 通 費	111,648	129,136	-17,488
交 際 費	53,314	35,000	18,314
通 信 運 搬 費	99,457	82,857	16,600
消 耗 品 費	522,447	236,118	286,329
図 書 購 入 費	370,420	360,906	9,514
印 刷 製 本 費	260,451	631,520	-371,069
光 熱 水 費	117,035	119,679	-2,644
賃 借 料	414	882	-468
委 託 会 料	1,527,528	1,706,508	-178,980
諸 会 費	137,000	0	137,000
租 税 公 課	5,650	2,100	3,550
雑 費	0	137,000	-137,000
減 価 償 却 費	89,485	63,909	25,576
経常費用計	209,229,074	195,186,393	14,042,681
評価損益等調整前当期経常増減額	4,874,308	14,867,192	-9,992,884
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	4,874,308	14,867,192	-9,992,884
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	0	0	0
リース契約解約損	1,646,731	0	1,646,731
経常外費用計	1,646,731	0	1,646,731
当期経常外増減額	-1,646,731	0	-1,646,731
他会計振替額	0	0	0
法人税等	1,357,500	1,854,900	-497,400
当期一般正味財産増減額	1,870,077	13,012,292	-11,142,215
一般正味財産期首残高	182,773,156	169,760,864	13,012,292
一般正味財産期末残高	184,643,233	182,773,156	1,870,077
II 指定正味財産増減の部			
基本財産運用益	234,601	741,616	-507,015
基本財産受取利息	234,601	741,616	-507,015
特定資産運用益	4,554	2,950	1,604
一般正味財産への振替額	-239,155	-744,566	505,411
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	101,000,000	101,000,000	0
指定正味財産期末残高	101,000,000	101,000,000	0
III 正味財産期末残高	285,643,233	283,773,156	1,870,077

正味財産増減計算書内訳表

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

公益財団法人東京都人権啓発センター

(単位:円)

科 目	公 益	収 益	法 人	内部取引消去	合 計
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
基本財産運用益	0	0	234,601		234,601
基本財産受取利息	0	0	234,601		234,601
特定資産運用益	3,201	0	1,353		4,554
特定資産受取利息	3,201	0	1,353		4,554
受取会費	1,122,000	0	0		1,122,000
賛助会員受取会費	1,122,000	0	0		1,122,000
事業収益	14,249,707	0	0		14,249,707
普及啓発事業収益	56,500	0	0		56,500
研修事業収益	14,193,207	0	0		14,193,207
受取補助金等	70,688,948	5,012,912	12,200,110		87,901,970
受取東京都補助金	70,688,948	5,012,912	12,200,110		87,901,970
受取人権プラザ事業収益	75,926,550	34,664,000	0		110,590,550
公益目的事業収益	75,926,550	0	0		75,926,550
施設管理運営事業収益	0	34,664,000	0		34,664,000
経常収益計	161,990,406	39,676,912	12,436,064	0	214,103,382
(2) 経常費用					
事業費	167,905,216	27,154,009	0		195,059,225
役員報酬	8,610,713	1,076,340	0		9,687,053
給与手当	57,344,804	14,024,594	0		71,369,398
賞与引当金繰入	519,935	0	0		519,935
福利厚生費	10,778,454	1,983,513	0		12,761,967
支払手数料	83,906	119,247	0		203,153
会議費	29,827	0	0		29,827
職員研修費	334,813	32,197	0		367,010
旅費交通費	1,016,330	35,950	0		1,052,280
通信運搬費	2,375,904	151,216	0		2,527,120
消耗品費	4,910,483	3,700,937	0		8,611,420
図書購入費	3,550,126	0	0		3,550,126
印刷製本費	3,970,165	649,610	0		4,619,775
光熱水費	609,770	121,275	0		731,045
賃借料	1,788,252	975,133	0		2,763,385
委託料	47,255,218	1,587,444	0		48,842,662
諸謝金	19,636,898	0	0		19,636,898
諸会費	5,000	0	0		5,000
修繕費	0	476,130	0		476,130
保険料	21,920	0	0		21,920
租税公課	2,719,468	1,031,482	0		3,750,950
寄付金	1,248,140	447,700	0		1,695,840
雑費	17,810	0	0		17,810
減価償却費	1,077,280	741,241	0		1,818,521

科 目	公 益	収 益	法 人	内部取引消去	合 計
管理費	0	0	14,169,849		14,169,849
役員報酬	0	0	3,881,339		3,881,339
給与手当	0	0	4,200,862		4,200,862
福利厚生費	0	0	1,751,499		1,751,499
支払手数料	0	0	971,047		971,047
会議費	0	0	39,183		39,183
職員研修費	0	0	31,070		31,070
旅費交通費	0	0	111,648		111,648
交際費	0	0	53,314		53,314
通信運搬費	0	0	99,457		99,457
消耗品費	0	0	522,447		522,447
図書購入費	0	0	370,420		370,420
印刷製本費	0	0	260,451		260,451
光熱水費	0	0	117,035		117,035
賃借料	0	0	414		414
委託料	0	0	1,527,528		1,527,528
諸会費	0	0	137,000		137,000
租税公課	0	0	5,650		5,650
雑費	0	0	0		0
減価償却費	0	0	89,485		89,485
経常費用計	167,905,216	27,154,009	14,169,849	0	209,229,074
評価損益等調整前当期経常増減額	-5,914,810	12,522,903	-1,733,785	0	4,874,308
評価損益等計	0	0	0	0	0
当期経常増減額	-5,914,810	12,522,903	-1,733,785	0	4,874,308
2. 経常外増減の部					
(1) 経常外収益					
経常外収益計	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用					
固定資産除却損	0	0	0	0	0
リース契約解約損	0	922,169	724,562	0	1,646,731
経常外費用計	0	922,169	724,562	0	1,646,731
当期経常外増減額	0	-922,169	-724,562	0	-1,646,731
他会計振替額	5,275,166	-8,275,166	3,000,000	0	0
法人税等	0	1,287,500	70,000	0	1,357,500
当期一般正味財産増減額	-639,644	2,038,068	471,653	0	1,870,077
一般正味財産期首残高	46,455,393	357	136,317,406	0	182,773,156
一般正味財産期末残高	45,815,749	2,038,425	136,789,059	0	184,643,233
II 指定正味財産増減の部					
基本財産運用益	0	0	234,601		234,601
基本財産受取利息	0	0	234,601		234,601
特定資産運用益	3,201	0	1,353		4,554
一般正味財産への振替額	-3,201	0	-235,954		-239,155
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	101,000,000	0	101,000,000
指定正味財産期末残高	0	0	101,000,000	0	101,000,000
III 正味財産期末残高	45,815,749	2,038,425	237,789,059	0	285,643,233

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法
先入先出法による原価基準によっている。
- (2) 固定資産の減価償却
有形固定資産（リース資産を除く）は定額法によっている。
ソフトウェアは定額法によっている。
リース資産はリース期間を耐用年数とし、残存価額を零とするリース資産定額法によっている。
- (3) 引当金の計上基準
賞与引当金は職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する額を計上している。
- (4) 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	36,000,000	—	—	36,000,000
投資有価証券	100,000,000	—	—	100,000,000
小 計	136,000,000	—	—	136,000,000
特定資産				
人権啓発資料製作積立資産	17,000,000	1,000,000	—	18,000,000
運用準備資金（公益目的）	15,000,000	—	3,000,000	12,000,000
運用準備資金（法人）	14,995,769	—	—	14,995,769
小 計	46,995,769	1,000,000	3,000,000	44,995,769
合 計	182,995,769	1,000,000	3,000,000	180,995,769

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味 財産からの充当 額)	(うち一般正味 財産からの充当 額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
定期預金	36,000,000	(1,000,000)	(35,000,000)	—
普通預金	0	(0)	—	—
投資有価証券	100,000,000	(100,000,000)	—	—
小 計	136,000,000	(101,000,000)	(35,000,000)	—
特定資産				
人権啓発資料製作積立資産	18,000,000	—	(18,000,000)	—
運用準備資金(公益目的)	12,000,000	—	(12,000,000)	—
運用準備資金(法人)	14,995,769	—	(14,995,769)	—
小 計	44,995,769	—	(44,995,769)	—
合 計	180,995,769	(101,000,000)	(79,995,769)	—

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額、当期末残高及び固定資産除却損

固定資産の取得価額、減価償却累計額、当期末残高及び固定資産除却損は次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	固定資産除却損	当期末残高
什器備品	2,901,319	2,720,103	—	181,216
リース資産	14,669,776	5,626,612	1,646,731	7,396,433

5. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末 残 高	当期増加額	当期減少額	当期末 残 高	貸借対照表上 の記載区分
補助金 運営費補助金	東京都	0	87,901,970	87,901,970	0	
合 計		0	87,901,970	87,901,970	0	

6. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
基本財産運用益による振替額	234,601
特定資産運用益による振替額	4,554
合 計	239,155

7. 引当金の明細

引当金の明細は次のとおりである。

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
賞与引当金	652,735	519,935	652,735	519,935
合 計	652,735	519,935	652,735	519,935

8. 関連当事者との取引の内容

関連当事者との取引の内容は次のとおりである。

(単位：円)

属性	法人等の名称	住所	資産総額	事業の内容又は職業	議決権の所有割合	関係内容		取引の内容	取引金額	科目	期末残高
						役員・兼務等	事業場の関係				
当法人を支配する法人	東京都	新宿区西新宿二丁目8番1号				1 当法人役員9名中、元都職員3名 1 名のうち都派遣職員6名 当法人常勤職員	連携の下に各種事業を行っている 当法人は、行政補完型公益法人として都行政と有機的	人権普及啓発事業の実施	87,901,970	受取東京都補助金	0
								東京都人権プラザの管理運営	110,590,550	受取人権プラザ事業収益	0
合計								198,492,520		0	

(取引条件及び取引条件の決定方針等)

(1) 東京都からの受取補助金

東京都からの受取補助金は、補助金の交付申請を行い交付決定を受けている。

(2) 東京都からの受託業務

東京都からの受託業務は、下記のとおり実施している。

区 分	業 務	受託期間
指定管理者	東京都人権プラザの管理運営	平成30年度～令和9年度 (10年間)

9.リース取引関係

ファイナンスリース取引

所有権移転外ファイナンスリース取引

リース資産の内容

その他固定資産

事務室におけるコンピューター（什器備品）

図書資料室システム（什器備品）

財 産 目 録

令和2年3月31日

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等		使用目的等	金額
流動資産					
流動資産	現金	手元保管		運転資金として保有	69,707
	預金	普通預金	みずほ銀行雷門支店	運転資金として保有	120,483,653
			みずほ銀行雷門支店	賛助会員振込み用口座	966,000
		ゆうちょ銀行	賛助会員振込み用口座	117,127	
		東京都職員信用組合	運用益の管理のために保有している口座	3,784	
	未収金	官公庁等		講師派遣事業の未収	1,517,365
	前払金	(公財)公益法人協会 外		令和2年度分年会費 外	172,478
	棚卸資産			啓発用物品	511,770
貯蔵品			未使用の郵便切手及び収入印紙	29,975	
流動資産合計					123,871,859
固定資産					
基本財産	投資有価証券	第782回利付東京都債		運用益を法人全体の管理費に充てるために保有している財産	100,000,000
	預金	定期預金	みずほ銀行雷門支店	運用益を法人全体の管理費に充てるために保有している財産	26,000,000
東京都職員信用組合			運用益を法人全体の管理費に充てるために保有している財産	10,000,000	
特定資産		人権啓発資料製作積立資産	定期預金	みずほ銀行雷門支店	人権啓発ビデオの制作資金として積立
運用準備資金	定期預金	みずほ銀行雷門支店	公益目的事業会計の資金にする為保有	12,000,000	
		みずほ銀行雷門支店	資金の不測の事態に備え保有	13,500,000	
	普通預金	みずほ銀行雷門支店	資金の不測の事態に備え保有	1,495,769	
その他の固定資産	什器備品	会議机、プロジェクター 外3件		事業及び法人の運営に使用	181,216
	リース資産	パソコン・サーバー式		事業及び法人の運営に使用	7,396,433
固定資産合計					188,573,418
資産合計					312,445,277
流動負債					
流動負債	未払金	東京都他		東京都補助金返還金他	15,108,397
	短期リース債務	NTTファイナンス(株)他		パソコン・サーバー式	1,786,534
	預り金	国他		源泉徴収所得税、社会保険料	442,879
	賞与引当金			公益目的事業に従事する職員の賞与引当金	519,935
	未払法人税等	国及び地方公共団体		法人税等の未払金	1,357,500
	未払消費税等	国及び地方公共団体		消費税等の未払金	1,976,900
流動負債合計					21,192,145
固定負債					
固定負債	長期リース債務	NTTファイナンス(株)他		パソコン・サーバー式	5,609,899
固定負債合計					5,609,899
負債合計					26,802,044
正味財産合計					285,643,233